



吉田地区 住民自治協議会だより

42号

キャッチフレーズ 「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

発行責任者 水内 和義 編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会
事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテナがの2階 TEL 026-263-6224 FAX 026-266-0371

吉田地区住民自治協議会 防災研修会

吉田地区住民自治協議会は、令和2年12月11日（金）午後3時から約2時間弱、ノルテナがの多目的ホールにて、信州大学教育学部教授廣内大助先生に講師を依頼し、2年前の台風19号災害等についての講演会を開催いたしました。

事の始まりは区長部会での小松原町区長の要望から。水内会長の指示で講演会実現を検討する中、長岩吉田支所長から「信州大学出前講座」の情報を得て開催に至りました。

当日は、新型コロナウイルス対策のために、区長部会と安全・安心部会等40名弱での聴講となりました。

講師の廣内先生の専門は、「地球の表面の地形は何故できるのか？」との自然科学と、「その地形を利用する人間の生活史は？」の社会科学を統合する自然地理学（特に地形学）です。

講演の中で、地形と水害の関係は「地形から学ぶ。」ことができること。「水害が何処で起こるのか？」は、「地図にヒントがある。」ことを学ぶことができました。

水害には、「ある程度予測ができる。」という特徴があること。水害を避けるには、自分で「ハザードマップ」を調べ、住宅地選定や住宅建設



等の減災に役立てること。地域では、①「HUG（避難所の運営訓練）」を自治会役員で実施すること。②「防災マップ」の作成と現地での住民による検討会を実施すること。③「DIG（災害図上訓練）」を家族で何パターンかで実施すること。④「タイムライン」を作成し、避難開始の段階（レベル）を家族・地域で統一すること。これらの事前の準備が「災害時の到着した対応を生み出す。」ことの大切さを拝聴する者の心に刻み、終演となりました。

2階に事務所移転

令和3年2月1日
吉田地区住民自治協議会の事務局が2階に移転しました。



ノルテナがの2階エレベーター横



おめでとう、北長野駅にエレベータ完成

北長野地区ユニバーサルデザイン研究会
会長 返町洋三



エレベータの前で

2020年9月、ようやく北長野駅構内にエレベータが完成しました。そもそも「交通バリアフリー法」で1日3000人以上の乗降客がある駅は、エレベータ設置が義務付けられています。それに該当する北長野駅は、JR時代からすでに設置が求められていましたが、先送りされてきました。2013年3月の長野市議会で、地元の近藤満里市議会議員が「北長野駅にエレベータを」と質問されました。それを契機に、北長野地区ユニバーサルデザイン研究会（以降UD研という）を立ち上げました。その後、UD研では北長野地区をもっと住

みよい街にと「変わろう！北長野」をテーマに、何回かシンポジウムを開催すると共に、長野市・しなの鉄道に働きかけ、ようやくしなの鉄道によりエレベータが完成しました。エレベータは既存の階段の三才駅寄りに設置されました。このエレベータ工事と共にホームのかさ上げ工事がなされました。飯山線と北しなの線の列車の乗降口の高さは、北しなの線の方が高く、車いす利用者や足腰の不自由な方の乗り降りが不便でした。そこで三才駅寄りのエレベータ付近をかさ上げして北しなの線の乗降場所とし、長野駅寄りを現状のまま飯山線の乗降場所としました。今までは飯山線と北しなの線はホームの同じ位置に停車したが、工事後は乗降位置が異なるため、UD研では工事中に長野県・しなの鉄道と現場で話し合いを持ち、初めて利用する方、視覚障がい者、聴覚障がい者等に乗降場所をどう周知するのかを質問しました。その結果、しなの鉄道は床にステッカーを貼ったり、看板を設置することとしました。一方、雪や災害等緊急時や、職員がいる時間（7時から10時、15時から20時）以外の時間帯にどう対応するのか心配があります。職員のいない時間に私達は案内ガイドを提案しましたが、承諾が得られませんでした。でも待望のエレベータが設置され、より多くの人が使えやすくなったことは間違いなく、まずは喜ぶたい。高齢者、お子さん連れの方、車いす利用者、視覚障がい者等多くの皆さんに利用していただき、北長野駅や皆の足となる北しなの線が盛り上げたいと思っています。なお、車いす利用者は、列車の乗降口にスロープ設置もあり、「事前にしなの鉄道豊野駅に連絡をほしい」とのことです。



ホームの足元にステッカー

私達は吉田地区の玄関である北長野駅とその周辺をもっと安全で利用しやすく、潤いのあるものにと、長野日大高校生が提案した北長野駅地下道の清掃、待合室の季節に沿った飾りつけ、駅前のプランターの花の植え付け（昨年、東部中生徒に手伝ってもらおう）を引き続き行っていきたいと思います。



待合室の飾り

また2019年19号台風の千曲川決壊で、ハザードマップの有効性が改めて認識されました。そこでUD研では、視覚障がい者が触ってわかる、凹凸のあるハザードマップを長野高専の先生や学生さんと共同で製作中です。これも早く完成させ、誰にも優しい住みやすい街になるようこれからも活動を進めていきたいと思います。

第42号をお届けいたします。新型コロナウイルス防止のために、色々な行事が中止や延期になっています。

例年であれば、住民自治協議会だよりの巻頭は「吉田地区成人式」の集合写真と共に新成人の誓いのことばが飾られ、新成人の笑顔が新春の華やかなスタートを告げるところでしたが、1月10日の開催予定は一先ず延期となりました。他の行事も、どんど焼き、吉田町新年交歓会、吉田地区人権を認め合う住民の集い、吉田町青少年健全育成住民の集い等が中止のため、開催模様がお伝えできなくなつたことが残念です。

新型コロナウイルス防止のために各事業を中止する中、新たな試みとして「吉田地区防災研修会」の開催と住民自治協議会事務所の移転及び北長野駅構内のエレベータの新設の経緯をお伝えします。

今後も各種事業の掲載に努めてまいりますので、ご協力をお願いします。